

# 参加国



オーストラリア



インド



日本



メキシコ



モザンビーク



オマーン



ペルー



ポーランド



南アフリカ



スペイン



スリランカ



# 日程

平成 29 年度「世界青年の船」事業 日程表								
		午前① 9:30～10:40	午前② 10:50～12:00	午後① 13:40～14:50	午後② 15:00～16:10	午後③ 16:20～17:30	夜 20:00～21:10	
1	1/16 (火)	外国参加青年来日						
2	1/17 (水)	10:00～12:00/12:00～14:00 オリエンテーション、歓迎会						
3	1/18 (木)	地方プログラム(表敬訪問、歓迎会)						
4	1/19 (金)	地方プログラム(ホームステイ)						
5	1/20 (土)	OPY:地方プログラム(ホームステイ) JPY:出航前研修						
6	1/21 (日)	OPY:地方プログラム(東京へ移動) JPY:出航前研修					アイスブレイキング	
7	1/22 (月)	開講式・全体オリエンテーション	コース顔合わせ	LG、委員会決め	異文化理解講座(1)	委員会活動①/インターベンション講習(NLのみ)		
8	1/23 (火)	都内視察					自主活動	
9	1/24 (水)	リーダーシップ・セミナー①	NP①			自主活動		
10	1/25 (木)	コース・ディスカッション(導入)	課題別視察			自主活動		
11	1/26 (金)	スポーツ&レクリエーション①	休日					
12	1/27 (土)	プロジェクト・マネジメント・セミナー①	コース・ディスカッション①～17:00	—	19:00～クラブ活動紹介/オリエンテーション説明			
13	1/28 (日)	科学技術視察	横浜港へ移動	フリータイム	乗船	ADMオリエンテーション		
14	1/29 (月)	9:00-10:30 / 10:45-11:00 / 11:15-11:45 出国手続き、船内オリエンテーション、避難訓練	13:30-15:00 / 15:00-15:30 オープンアップ、出航式	16:00 横浜出港		委員会活動②		
15	1/30 (火)	半休日	管理官講話/船長講話					
16	1/31 (水)	半休日	特別セミナー トランジション・タウン/心理学セミナー					
17	2/1 (木)	委員会活動③		半休日				
18	2/2 (金)	PYセミナー①	スキルセミナー①	レター・グループ活動①	自主活動			
19	2/3 (土)	リーダーシップ・セミナー②	コース・ディスカッション②			自主活動		
20	2/4 (日)	半休日	プロジェクト・マネジメント・セミナー②	委員会活動④		自主活動		
21	2/5 (月)	リーダーシップ・セミナー③	クラブ活動①				自主活動	
22	2/6 (火)	入港8:00 出港18:00	シンガポール寄港(給油・給水)				NPIリハーサル ~ 22:00	
23	2/7 (水)		PYセミナー②	コース・ディスカッション③		NPIリハーサル~22:00		
24	2/8 (木)	NP②						
25	2/9 (金)	半休日	公式写真撮影	半休日		自主活動 (デリゲーションパーティー: MEX, PER)		
26	2/10 (土)	プロジェクト・マネジメント・セミナー③	PYセミナー③	訪問国活動準備		自主活動 (デリゲーションパーティー: JPN, OMA)		
27	2/11 (日)	入港9:00 コチ入港	訪問国活動(インド)			レセプション		
28	2/12 (月)	訪問国活動(インド)						
29	2/13 (火)	出港18:00	訪問国活動(インド)	コチ出港		振り返り		
30	2/14 (水)	公式写真撮影/ブリッジツアー	PYセミナー④	訪問国活動準備	レター・グループ活動②	自主活動		
31	2/15 (木)	入港9:00 コロンボ入港	訪問国活動(スリランカ)			レセプション		
32	2/16 (金)	訪問国活動(スリランカ)						
33	2/17 (土)	出港18:00	訪問国活動(スリランカ)	コロンボ出港		振り返り		
34	2/18 (日)	休日						
35	2/19 (月)	コース・ディスカッション④	委員会活動⑤	スポーツ&レクリエーション②		自主活動 (デリゲーションパーティー: POL, SRI)		
36	2/20 (火)	スキルセミナー②	クラブ活動②				自主活動	
37	2/21 (水)	リーダーシップ・セミナー④	コース・ディスカッション⑤				自主活動 (デリゲーションパーティー: IND)	
38	2/22 (木)	入港 9:00 出港22:00	シンガポール寄港(給油・給水)					
39	2/23 (金)	事後活動セッション①	クラブ活動③			自主活動 (デリゲーションパーティー: ES)		
40	2/24 (土)	事後活動セッション②	エキシビション(クラブ活動の成果発表)				自主活動 (デリゲーションパーティー: AUS, MOZ/ RSA)	
41	2/25 (日)	休日						
42	2/26 (月)	自主活動	レター・グループ活動③	サマリー・フォーラム準備		自主活動		
43	2/27 (火)	リハーサル	サマリー・フォーラム			自主活動		
44	2/28 (水)	評価会	修了式	下船説明	フェアウェルディナー			
45	3/1 (木)	下船準備						
46	3/2 (金)	入港8:00	東京帰港	11:30 解散式・解散交歓会	下船	(外国参加青年は成田空港へ、 日本参加青年は帰国後研修へ)		
47	3/3 (土)	日本参加青年帰国後研修						

## 大切なのは優劣ではなく個性と存在意義

長田 壮哉

私がSWYで学んだのは、人それぞれに個性があり、複数の個性が相乗効果を発揮することで最高に美しいものが生まれるということでした。

それを実感したのは、コース・ディスカッションで、異なる経験や専門を持つ参加青年がチームを組み、教育機会格差を是正するソーシャルビジネスプランを考えた時でした。私は留学先だったシンガポールの事例を挙げたり、自分の専門分野である金融リテラシーの重要性を強調したりするなど、自分ならではの提案をしました。それまでは他人と自分を比較して劣等感を抱くこともありましたが、優劣を問うのではなく、自分の個性を発揮し存在意義を見出すことが重要だと気付いたのです。

SWYでの経験は、自分とはどういう人間なのか、そして自分はどういう人間になりたいのかを教えてくれた、最高の財産です。



## SWY: the journey that has just begun

Dennis from Peru

### SWY: 始まったばかりの旅

デニス／ペルー参加青年

Whenever someone asks me about SWY, one of the first things that come to my mind is the moment we had to say goodbye. Those 30 minutes were the hardest in my life, as if my soul was being pulled out of me. We were strangers just a few weeks before, so how is it possible to be bonded like this?

We were at the beginning just amazed of all the cultural diversity among all of us, trying to know how things worked in other countries and finding differences. We learned so much about understanding other traditions and ways of thinking, that it broadened our minds in unexplainable ways.

However, after many experiences together, multicultural teams and shared activities, after realizing we all have the same needs, we have problems, insecurities and dreams, there was no option but to see each other just as human beings connected by the same Earth and sky. Differences put aside, I could not see anything else but our souls bonded since the day we were born. Our hearts were reborn. Because SWY is about being born again.

Many thoughts came to me after the SWY, but I have a very strong conviction. If this is how the real world is supposed to be, every step I take will seek for the world to be like this. If this is how real life can be, then I'll live SWY journey every single day of my life.

SWYについて聞かれると、いつも一番に心に浮かぶのは別れの瞬間です。あの30分間は人生で最も辛く、私の魂が体から引き出されてしまったかのようでした。たった数週間前には見知らぬ者同士であったのに、どうしてこんなふうになるようになったのでしょうか？

私たちは最初、ほかの国の文化はどんなものなのかを知ろうとしたり、違いを発見したりしながら、自分たち全員の中にある文化的な多様性にただただ感嘆していました。自文化以外の伝統や考え方を理解することについて多くの学びがあり、それによって、説明がつかないような方法で私たちの視野は広がりました。

一方、様々な文化を持つメンバーで活動を行い、たくさんの経験を共有する中で、私たちはみな同じニーズを持ち、同じように問題や不安感を抱き、そして夢があることに気付きました。私たちはお互い、同じ地球や空のもとでつながった人間なのだ、と思わずにはいられませんでした。違いは別にして、私たちの魂は生まれたその日からつながっていたとしか思えません。私たちの心は生まれ変わったのです。なぜなら、SWYは自分が生まれ変わるものだからです。

SWYの後、様々なことを考えましたが、ひとつ確信していることがあります。もし、世界がこのような互いを理解し合えるものであるのなら、私の一步一步がそのような世界につながっているのです。もし日常生活がSWYのようになりうるのであれば、私はSWYで過ごした日々のように一日一日を生きていきます。

